

教科	数学	科目	数学 I	単位数	2	年次	1 年次
使用教科書	数学 I Advanced (東京書籍)						
副教材等	4STEP 数学 I + A (数研出版) Focus Gold 6th Edition 数学 I + A (啓林館)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

授業では数学の本質を理解することに重きをおきます。それによってみなさんがより数学の楽しさ・よさを感じることを目指します。数学を学ぶことを通じて、「分からない」を楽しむ力を身に付けてください。数学の力は単純な順序関係ではありません。各々の数学観を作り上げていってください。

2. 学習の到達目標

- (1) 基本的な概念、基礎的な知識を身につける。
- (2) 数学的活動を通して、数と式・2次関数・集合と命題・図形と計量の考え方に興味をもつとともに、様々な事象に対して、数学的な考え方を意欲的に活用する力を育てる。
- (3) 事象を数学的・論理的に考察し、表現できる能力を育て、数学のよさを認識できるようにする。
- (4) 身の回りの事象を数学的に捉える力を育てる。
- (5) 既習事項をたくさん活用しながら粘り強く考察する力を育てる。
- (6) 自分の解答を数学的に正しくかつ論理的に他者に説明する力、また、他者の解答を数学的に正しくかつ論理的に説明ができていないかを判断する力を身につける。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・数と式、図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり適切に変形したりすることができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。

		象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。	
評価方法	定期考査 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	定期考査 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	授業態度 授業に取り組む姿勢 提出課題などへの取り組み状況 ペアワーク・グループワークへ取り組む姿勢

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	式の計算 実数 1次不等式 関数とグラフ 2次方程式・2次不等式
2学期	鋭角の三角比 三角比の拡張 三角形への応用 集合 命題と論証
3学期	総合演習

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
<input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
<input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
<input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成 |
|--|

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2	年次	1 年次
使用教科書	数学 A Advanced (東京書籍)						
副教材等	4 STEP 数学 I + A (数研出版) Focus Gold 6th Edition 数学 I + A (啓林館)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

授業では数学の本質を理解することに重きをおきます。それによってみなさんはより数学の楽しさ・よさを感じることができると思います。また、中学までの数学との違いを体感し、自分で教科書を「よむ」力、そして考える力を身につけてほしいと思います。もちろん、「よむ」というのは音読のことではありません。教科書に書かれていることをそのまま受け取るだけでなく、その背景や内容をさらに深く掘り下げて考える姿勢が求められます。高校数学では抽象的な内容が多く登場しますが、文字を使った表現力と数学的思考力を味方につけて一緒に乗り越えていきましょう。

2. 学習の到達目標

- (1) 基本的な概念、基礎的な知識を身につける。
- (2) 数学的活動を通して、場合の数と確率・図形の性質・整数の性質の考え方に興味をもつとともに、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できるようにする。
- (3) 数学と人間の活動の関係について認識を深め、身の回りの事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。
- (4) 1つ1つの事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身につける。
- (5) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育む。
- (6) 自分の解答を数学的に正しくかつ論理的に他者に説明する力、また、他者の解答を数学的に正しくかつ論理的に説明ができているかを判断する力を身につける。
- (7) 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化した 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を見だし、論理的に考察することができる。 ・1つ1つの事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやす 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返

	り、数学的に表現・処理したりすることができる。	さを判断することができ る。 ・現実事象に絡めながら 数学的に考察することが できる。	って考察を深めようとして いる。
評価方法	定期考査 確認テスト 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	定期考査 確認テスト 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	授業に取り組む姿勢 提出課題などへの取り組み 状況 ペアワーク・グループワークへ取り組む姿勢

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1学期	集合 場合の数 確率 図形の性質
2学期	三角形の性質 円の性質 空間図形 整数の性質
3学期	整数の性質
第4章「数学と人間の活動」においては年間を通して行う予定である	

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
<input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
<input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
<input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
<input type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成 |
|---|

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3	年次	2年次
使用教科書	数学Ⅱ Advanced (東京書籍)						
副教材等	4 STEP 数学Ⅱ + B+C (数研出版) Focus Gold 数学Ⅱ + B+ベクトル (啓林館)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

「数学Ⅱ」では主に「数学Ⅰ」で学んだ内容を発展・拡張していきます。それらの内容は数学に限らず、様々な分野の土台となる概念や道具になります。授業では具体例を挙げ、多面的に理解・応用することを目指します。じっくり考えること、協力して考えることを大切に授業に臨んで下さい。

2. 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、諸活動を通して、考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解
- (2) 事象を数学的に解釈・表現・処理する力
- (3) 論理的に考察し、簡潔・明瞭・的確に表現する力
- (4) 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力
- (5) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化し、数学的に処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を的確に表現し、考察することができる。 ・問題考察の過程を見通したり、振り返って発展的に考察等することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く柔軟に考え、数学のよさを認識する。 ・問題解決の過程を振り返り、自己で評価・改善しようとしている。
評 価 方 法	定期考査や確認テスト（不定期）をもとに総合的に判断する。	定期考査や確認テスト（不定期）および提出物をもとに総合的に判断する。	授業への参加状況（グループワーク等含む）や提出物などをもとに総合的に判断する。

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	方程式・式と証明 図形と方程式
2 学期	三角関数 指数関数・対数関数 微分
3 学期	積分

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	数学	科目	数学 B	単位数	2	年次	2 年次
使用教科書	数学 B Advanced (東京書籍)						
副教材等	4 STEP 数学 II + B + C (数研出版) Focus Gold 数学 II + B + ベクトル (数学 C) 6 th Edition (啓林館)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

公式や定理を鵜呑みにせず、なぜそういえるのか、それは本当に正しいといえるのか、と自分が数学的に納得するまで疑問を持ち続けられることが重要である。

また、身のまわりにある現象を数式で表現したり数学的に捉えたりして、その現象の原因や法則を研究する姿勢を大切にしましょう。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

- (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習の到達目標

- (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。
- (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って

考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

		<p>解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。</p>	
評価方法	<p>定義を理解し、基本的な定理・公式が身についているかを考查の基本問題を中心に評価する。</p>	<p>場面に適した定理・公式が使えるか、視点を変えて問題を捉えられるか、図形や事象を数式で表現できるかを考查の発展問題を中心に評価する。</p>	<p>興味・関心をもって意欲的に数学に取り組む態度を以下を中心に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で指示された提出課題。主体的に取り組む姿勢をみる。 ・ 授業内単元テスト。普段の授業内で実施。授業で扱った問題の設定を少し変えて出題。見たことない状況であってもその場で考えることができるかをみる。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違っ問題の解き直しをして、自分の理解できていない部分を把握する姿勢を見る。
--	--	--	--

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	数列
2 学期	数列、統計的な推測
3 学期	統計的な推測

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
<input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
<input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
<input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成 |
|--|

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4	年次	3年次
使用教科書	数学Ⅲ Advanced (東京書籍)						
副教材等	4 STEP 数学Ⅲ (東京書籍)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

授業では数学の本質を理解することに重きをおきます。それによってみなさんはより数学の楽しさ・よさを感じることができると思います。既習のⅠAⅡBを活用することで複数の解法を楽しみ、事象を多面的に捉えてほしいと思います。また、数学Ⅲで学ぶ微分法・積分法は高校数学の頂点であり、理科分野などへの応用でも強力な道具になります。しっかり身につけ、高校数学の集大成として全力で楽しみましょう！

2. 学習の到達目標

- (1) 基本的な概念、基礎的な知識を身につける。
- (2) 数学的活動を通して、極限・微分法・積分法の考え方に関心をもつとともに、様々な事象に対して数学的な考え方を意欲的に活用する力を育てる。
- (3) 事象を数学的・論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。
- (4) 身の回りの事象などに積極的に数学を活用しようとしたり、事象について粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。
- (5) 2年までの既習事項を活用しながら粘り強く考察する力を育てる。
- (6) 自分の解答を数学的に正しくかつ論理的に他者に説明する力、また、他者の解答を数学的に正しくかつ論理的に説明ができていないかを判断する力、を身につける。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 極限、微分法及び積分法について、概念を理解し、基礎的な原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えるなどを通して、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身につける。 ・ 事象を論理的に判断し、数学的な表現を用いて説明したり考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。

評価方法	定期考査や確認テスト（不定期）をもとに総合的に判断する。	定期考査や確認テスト（不定期）をもとに総合的に判断する。	<p>興味・関心をもって意欲的に数学に取り組む態度を以下を中心に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で指示された提出課題。主体的に取り組む姿勢をみる。 ・ 確認テスト（普通の授業内で実施） ・ 間違った問題の直しをして、自分の理解できていない部分を把握する姿勢を見る。
------	------------------------------	------------------------------	--

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	分数関数 無理関数 逆関数 合成関数 無限数列 無限級数 関数の極限と連続性 微分と導関数
2 学期	いろいろな関数の導関数 導関数と関数のグラフ 微分法の実用 不定積分 定積分 積分法の実用
3 学期	総合演習

5. 科学のもり(SSH プログラム)との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	数学	科目	数学 C	単位数	2	年次	3 年次
使用教科書	数学 C Advanced (東京書籍)						
副教材等	4 STEP 数学 C (数研出版)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

公式や定理を鵜呑みにせず、なぜそういえるのか、それは本当に正しいといえるのか、と自分が数学的に納得するまで疑問を持ち続けられることが重要である。

また、今まで習得してきた単元と融合し、複数の解法を考えることにより、数学的理解をさらに深められるようにしましょう。

1. 諸概念の定義を理解できる。その定義が表す図形的な意味があるものについては、その意味も理解できる。
2. 定義に基づいて性質、公式、定理などを導出できる。
3. 導出した性質、公式、定理などを用いて計算したり、方程式・不等式を解いたり、グラフを書いたりできる。
4. (3)を行う中で規則性がありそうなものについて、文字による一般化を行い、その規則性を証明できる。
5. 問題を考える際にはその背後にある性質や構造に着目し、本質が同じである別の問題に気づける。意欲的に別解を考え、1つの問題を代数的に捉えたり、幾何学的に捉えたり、様々な観点から迫ることができる。

2. 学習の到達目標

(1) ベクトル，複素数平面，平面上の曲線，及び数学的な表現の工夫における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けているかどうか。また，その事象を数学化して数学的に解釈し，数学的に表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，的確に問題を解決できる技能を身に付けているかどうか。

(2) 数学的な活動を通して，ベクトル，複素数平面，平面上の曲線，及び数学的な表現の工夫における数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付け，思考の過程を振り返り事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力や，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力が養われているかどうか。

(3) 数学的な活動を通して，ベクトル，複素数平面，平面上の曲線，及び数学的な表現の工夫における考え方に関心・意欲をもつとともに，積極的に取り組み粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断し，問題解決の過程を振り返って考察を深め，評価・改善したりしようとしているかどうか。

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
----	---------	------------	--------------

<p>観 点 の 趣 旨</p>	<p>ベクトル，複素数平面， 平面上の曲線，及び数学 的な表現の工夫における 基本的な概念，原理・法 則，用語・記号などを理 解し，基礎的な知識を身 に付けているかどうか。 また，その事象を数学化 して数学的に解釈し，数 学的に表現し処理する仕 方や推論の方法を身に付 け，的確に問題を解決で きる技能を身に付けてい るかどうか。</p>	<p>数学的な活動を通して， ベクトル，複素数平面， 平面上の曲線，及び数学 的な表現の工夫における 数学を活用して事象を論 理的に考察する力を身に 付け，思考の過程を振り 返り事象の本質や他の事 象との関係を認識し統合 的・発展的に考察する力 や，数学的な表現を用い て事象を簡潔・明瞭・的 確に表現する力が養われ ているかどうか。</p>	<p>数学的な活動を通して，ベ クトル，複素数平面，平面 上の曲線，及び数学的な表 現の工夫における考え方に 関心・意欲をもつととも に，積極的に取り組み粘り 強く考え数学的論拠に基づ いて判断し，問題解決の過 程を振り返って考察を深 め，評価・改善したりしよ うとしているかどうか。</p>
<p>評 価 方 法</p>	<p>定義を理解し、基本的な 定理・公式が身につけて いるかを考査の基本問題 を中心に評価する。</p>	<p>場面に適した定理・公式 が使えるか、視点を変え て問題を捉えられるか、 図形や事象を数式で表現</p>	<p>興味・関心をもって意欲的 に数学に取り組む態度を以 下を中心に評価する。 ・ 授業で指示された提出</p>

		<p>できるかを考査の発展問題を中心に評価する。</p>	<p>課題。主体的に取り組む姿勢をみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内単元テスト。 <p>普段の授業内で実施。</p> <p>授業で扱った問題の設定を少し変えて出題。見たことない状況であってもその場で考えることができるかをみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 間違った問題の直し直しをして、自分の理解できていない部分を把握する姿勢を見る。
--	--	------------------------------	---

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	ベクトル、複素数平面
2 学期	平面上の曲線、複素数平面
3 学期	総合演習

5. 科学のもり (SSH プログラム) との関連

- 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
- 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
- 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
- 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
- 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
- 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成

教科	数学	科目	数学発展	単位数	2	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	クリアー数学演習 I・II・A・B・C[ベクトル]受験編 (数研出版)						

1. 担当者から生徒へのメッセージ

授業では数学の本質を理解することに重きをおきます。既習内容を活用することで複数の解法を楽しみ、事象を多面的に捉えてほしいと思います。また、解答が合っているかどうかではなく、解答までのプロセスや頭の中の思考自体に重きをおいて授業を進めます。本質をしっかり身につけることで数学という学問を楽しむことができ、入試にも対応できるようになるということを体感してほしいと思います。

- (1) 基本的な概念、基礎的な知識を再確認する。
- (2) 事象を数学的・論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につける。
- (3) 2年次までの既習事項をたくさん活用しながら粘り強く考察する力を育てる。
特に、解答が合っているかどうかではなく、なぜそのようなプロセスを必要とするのか・なぜそのような操作で解答が求まるのかを明確にすることを重視する。
- (4) それぞれの生徒の解法をクラス全体で共有することで、1つの問題を多角的にみる力を身につける。
- (5) 他者の解答を見て、数学的に正しいか・論理的に説明ができているかを判断する力を身につける。

2. 学習の到達目標

3. 評価の観点と評価方法

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次までの既習事項について基本的な概念を理解している。 ・ 事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり適切に変形したりすることができる。 ・ 2年次までの既習事項について論理的に考察し表現することができる。 ・ 1つの問題を多角的にみながら処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。

評価方法	確認テスト 定期考査 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	定期考査 授業中の取り組み 提出課題などへの取り組み	授業態度 授業に取り組む姿勢 提出課題などへの取り組み 状況 ペアワーク・グループワークへ取り組む姿勢
------	---	----------------------------------	---

4. 学習の活動

学期	学習内容（単元・項目）
1 学期	数と式、関数と方程式・不等式、式と証明、整数の性質、場合の数・確率、図形の性質、図形と式、三角比・三角関数、指数関数・対数関数、微分法、積分法、数列、ベクトル、統計 年間を通してこれらをまんべんなく扱う
2 学期	
3 学期	総合演習

5. 科学のもり(SSHプログラム)との関連

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 科学的な探究方法の習得と科学的な思考力の育成
<input checked="" type="checkbox"/> 他者に対する表現力や他者との協働性の育成
<input type="checkbox"/> 異文化理解の形成と国際的な視野の獲得
<input checked="" type="checkbox"/> 文理や教科の枠を越えて転移可能な理解の形成
<input type="checkbox"/> 自ら設定した目標をやり遂げようとする責任感の育成
<input type="checkbox"/> 自らの成長を認知し、さらなる成長につなげる力の育成 |
|---|